

県議会 おおいた

No.109

大分県議会

平成30年2月発行

題字は、大分県立大分豊府高等学校
3年 高橋 彩花さんの作品です。



目次

- ▼平成29年第4回定例会……………1
- ▼委員会の活動状況……………4
- ▼トピックス……………6
- ▼県議会今後の動き……………6

～出前県議会～

11月16日、宇佐市に15人の議員が出向き、出前県議会を開催しました。

「宇佐市の地域振興について」をテーマに、地元の6人の方々から、子育て環境の充実、中小企業経営者の悩みや若者定住対策、味・ねぎの振興及び新規生産者の育成、地域課題解決に向けた住民一体となった地域づくり、グリーンツーリズムによる観光振興などについて、取組状況や課題・提言を発表いただき、意見交換を行いました。

平成29年 第4回定例会

11月27日から12月13日までの会期17日間で開かれました。

開会后、井上議長による諸般の報告に続き、県の国民健康保険運営協議会の設置や市町村への交付金及び市町村から徴収する納付金等に関し必要な事項を定める大分県国民健康保険条例案や、犯罪被害者等の支援に係る基本理念、県や県民等の責務、二次的被害防止等の基本的施策などを定める大分県犯罪被害者等支援条例案など、議案等24件が提出され、広瀬知事が提案理由を説明しました。

12月4日から3日間にわたり行われた一般質問には、12人の議員が登壇し、台風第18号災害からの復旧・復興やラグビーワールドカップ2019などについて、執行部と活発な議論を行いました。

また、4日には、継続審査となっていた決算議案14件について採決を行い、全て可決・認定しました。

各常任委員会は、7日及び8日に開催し、付託された議案等について慎重な審査を行いました。

今定例会では、知事提出議案43件について可決・同意・認定・承認し、請願2件を継続審査とし、閉会しました。

会期中には、延べ363人の方々から本会議や委員会を傍聴されました。

一般質問

12月4日(月)



自由民主党
古手川 正治 議員

豪雨災害
建設業の維持・育成

ほか



自由民主党
鴛海 豊 議員

労働力確保対策
道路整備

ほか



県民クラブ
守永 信幸 議員

災害への備え
行財政改革

ほか



自由民主党
嶋 幸一 議員

ラグビーワールドカップ2019
青年農業者の育成

ほか

12月5日(火)



自由民主党
森 誠一 議員

おおいた豊後牛の振興
土地改良区支援

ほか



公明党
吉岡 美智子 議員

重度障がい者医療
いじめ対策

ほか



県民クラブ
平岩 純子 議員

特別支援教育
DVT

ほか



自由民主党
衛藤 博昭 議員

幼児教育
看護職員の不足

ほか

12月6日(水)



県民クラブ
久原 和弘 議員

少子化対策
日出生台演習場の米軍訓練

ほか



自由民主党
木付 親次 議員

無形民俗文化財
清流川

ほか



県民クラブ
玉田 輝義 議員

労働政策
食育

ほか



自由民主党
濱田 洋 議員

第4次産業革命
所有者不明土地

ほか

豪雨災害(災害復旧・復興)

問 津久見市街地を襲った台風第18号災害について、今後どのように工事を進めていくのか伺う。

答 台風第18号は、記録的短時間大雨情報4度も発表され、特に津久見市の中心部を流れる津久見川では、はん濫に加え背後の山々から流れ込んだ泥水が重なり、浸水家屋916戸、浸水面積18ヘクタールに上る深刻な被害となった。こうした災害が二度と起こらないようにするには、はん濫した津久見川や彦の内川の抜本的な河川改修等に取り組まなければならない。

12月1日に異例の早さで総事業費約44億円の河川激甚災害対策特別緊急事業が採択された。具体的には、流下能力が不足している区間において、緊急的・集中的に河川の拡幅や河床掘削、橋の架替を行い、流下能力など治水機能の強化を図るものである。

今年度は、測量・設計を進めるとともに、堆積土砂の掘削に取りかかる。その後、河川の拡幅に着手するが、新たな用地の確保が必要となるので、地元の方々に丁寧に説明するなど、関係者の皆様のご理解とご協力が得られるよう努めていく。被災された方々が、一刻も早く安心して暮らせるよう、引き続き市と一体となって、迅速かつ着実に復旧・復興に取り組んでいく。

ラグビーワールドカップ2019

問 大会開催まで残り2年を切り、今後どのような点に力を入れて取組を進めていくのか伺う。

答 試合日程も決まり、これまでの気運醸成の取組に加え、会場整備、交通輸送、危機管理・救急医療、観光・おもてなしの取組を本格化させる。会場整備では、選手が最高のパフォーマンスを発揮できるよう芝生を強化するとともに、観客席の増設や大型映像装置の追加などを行う。

交通輸送では、シャトルバスをはじめ、パークアンドライドやタクシー等の輸送手段やルート、必要台数とその確保策などの輸送計画をしっかりと立てる。

観光・おもてなしでは、1試合4万人の観戦客が見込まれ、宿泊施設の確保が重要となることから、県内全域でホテル・旅館・農家民宿などの受入環境整備に取り組む。また、海外観戦客は平均14日間の長期滞在となるため、旅行会社と連携し、クルーズ船など魅力ある旅行商品の造成に力を入れる。さらに、誰もが楽しめる公式ファンゾーンを大分駅南に設置する予定である。道案内やファンゾーンの運営等に多くのボランティアの力も必要となり、30年春頃から募集を開始する。大会の成功に向けて、全県を挙げて準備万全に進めていく。

おおいた豊後牛の振興

問 第11回全国和牛能力共進会において本県の出品牛が高い評価を受けたことを踏まえ、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

答 この好成績を受けて、流通・生産の両面から対策を強化し、全国に通用するブランド力をつけることが重要である。流通対策では、おおいた豊後牛を専門に提供する飲食店をサポート・ショップとして東京、大阪に5店舗認定しているが、来年度は店舗を倍増し、大消費地での認知度をさらに向上させる。また、県内外のホテルや飲食店等の取扱認定店は254店舗まで増加しているが、今後は全国展開の高級ホテルやレストラン等にもしっかり売り込んでいく。

さらに、台湾への牛肉輸出が解禁となったことから、トップセールスを行い、12月から新たに輸出が開始されるなど、海外展開も加速させる。

生産対策としては、繁殖面では、意欲ある繁殖農家に対し、増頭対策を講じるとともに、基幹的な担い手の育成や新規就農を促進するため、施設整備等の支援を充実する。

肥育面でも、畜産クラスター事業等を活用した肥育牛舎の整備を進めるほか、畜産公社が行う肥育牛預託の取組を支援する。

今回の好機を逃すことなく、おおいた豊後牛の振興と生産者の所得向上に向け、関係者と一体となつて取り組む。

特別支援教育

問 特別支援教育への知事の考えを伺う。

答 障がいのある子どももの自立や社会参加に向けて、一人ひとりの障がいの状況に応じた、適切でより質の高い教育が必要だと考える。

現在、県教育委員会では、第三次大分県特別支援教育推進計画の策定が進められているが、三つの大きな課題がある。

一つ目は、教育環境の整備である。医療技術の進歩や特別支援教育に対する理解が進み、特別支援学校への就学の希望が増えていく。一方で、障がいによつては、児童生徒数の著しい減少を来している特別支援学校もある。マンモス化したり、狭隘化したりしている今の学校の状況を踏まえた対策が必要である。また、一般就労が可能な生徒の専門的な教育の場の確保も課題である。このような状況を踏まえて、特別支援学校の新設を含む再編に取り組むべき時期にきている。

二つ目は、教職員の専門性の向上である。児童生徒の障がいが多様化しており、教員の対応力を高めていくことが課題である。

三つ目は、特別支援学校に在籍していない特別な支援が必要な子ども達への対応である。今後は、高等学校での通級による指導が課題である。

特別な支援の必要な子ども達も持っている可能性を最大限伸ばすことは、特別支援教育の努めである。子ども達が夢を持ち、その夢を叶え、「大分県で育つて良かった」と保護者や子ども達が思える教育を目指して欲しいと思う。

食育の推進

問 食育推進条例の理念を今後どのようにして県民生活に根付かせていくのか考えを伺う。

答 「食育」の目的は、健全な心と体を育むこと、食を提供してくれる家族や生産者に感謝すること、食を通じて生まれ育つた地域を愛する心を育むことと考える。また、子どもの健全育成や、健康寿命日本一を実現するうえでも重要である。

県では、食育推進条例を制定するとともに、第三期食育推進計画に基づき、「食べ物を選ぶ力」や「地域の食文化を生かした料理ができる力」など「六つの力」を身につけることを目的に、食育の推進に取り組んでいる。

これまでの地道な取組に加え、食育を更に進めるため、30年6月に本県で開催する第13回食育推進全国大会は、絶好の機会である。

大会では、若者や親子世代に対して食育の大切さを伝える、健康寿命日本一を目指す契機とする、大分県の食文化を守り継承するという三つの目標を掲げている。現在、実行委員会が幅広く意見を伺いながら、大分県らしい手作り感のある参加・体験型の大会を目指している。

大会を通して、多くの県民が「食」に対する認識を深め、またそれを支える人々の活動が一層活発になることにより、本県の食育をステップアップさせ、国民文化祭等での大分の食文化の発信にも繋げたいと考える。

可決・承認等された議案等(知事提出)

● 予算関係 (4件)

▽平成29年度大分県一般会計補正予算(第7号) ほか

● 条例関係 (11件)

▽大分県犯罪被害者等支援条例の制定について ほか

● 人事関係 (3件)

▽教育委員会委員の任命について ほか

● 決算関係 (14件)

▽平成28年度大分県病院事業会計決算の認定について ほか

● その他 (10件)

▽当せん金付証券の発売について ほか

● 報告 (1件)

▽平成29年度大分県一般会計補正予算(第6号) について

常任委員会

総務企画委員会

◆委員会の開催状況

12月8日に委員会を開催。国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭等を活用した観光誘客や、国東半島宇佐地域・六郷満山開山1300年祭の概要等について参考人から意見聴取を行った後、付託を受けた議案8件、報告1件について審査を行い、審査の経過と結果について、閉会日に報告しました。

(付託を受けた議案 等)

・職員の給与に関する条例等の一部改正について ほか

◆県外所管事務調査

12月14日に福岡県で実施しました。

九州旅客鉄道株式会社（福岡市）では九州北部豪雨による被災JR各線の復旧計画等について調査しました。



福祉保健生活環境委員会

◆委員会の開催状況

12月8日に委員会を開催。付託を受けた議案6件、請願2件について審査を行い、審査の経過と結果について、閉会日に報告しました。

(付託を受けた議案 等)

・大分県犯罪被害者等支援条例の制定について ほか

◆県外所管事務調査

11月21日から22日にかけて東京都で実施しました。

ダイヤル・サービス株式会社（千代田区）では、「大分県精神科救急電話相談センター」の受託状況及び相談対応について調査しました。



商工労働企業委員会

◆委員会の開催状況

12月8日に委員会を開催。付託を受けた議案3件について審査を行い、審査の経過と結果について、閉会日に報告しました。

(付託を受けた議案 等)

・平成29年度大分県電気事業会計補正予算（第1号） ほか

◆県外所管事務調査

10月30日から11月1日にかけて岡山県及び大阪府で、12月19日に福岡県で実施しました。

株式会社安川電機（福岡県北九州市）では、ロボット技術の先進的な取組について調査しました。



農林水産委員会

◆委員会の開催状況

12月7日に委員会を開催。九州北部豪雨災害及び台風第18号災害に係る復旧・復興推進計画の進捗状況について、執行部から報告を受けました。

◆県内所管事務調査

12月7日に実施しました。

農林水産研究指導センター農業研究部では、イチゴの本県オリジナル新品種「ベリーツ」の育種の流れ、適応性試験の経過や品質向上対策、ハウスにおける栽培管理状況等について調査しました。



土木建築委員会

◆委員会の開催状況

12月7日に委員会を開催。付託を受けた議案8件について審査を行い、審査の経過と結果について、閉会日に報告しました。

(付託を受けた議案 等)

・平成29年度大分県一般会計補正予算（第7号）のうち土木建築委員会関係部分 ほか

◆県外所管事務調査

11月14日から16日にかけて東京都及び茨城県で実施しました。

国土交通省国土技術政策総合研究所（茨城県つくば市）では河川・土砂災害対策に係る研究成果等について調査しました。



文教警察委員会

◆委員会の開催状況

12月7日に委員会を開催。付託を受けた議案1件について審査を行い、審査の経過と結果について、閉会日に報告しました。

(付託を受けた議案 等)

・大分県立学校の設置に関する条例の一部改正について

◆県外所管事務調査

1月24日から25日にかけて佐賀県及び福岡県で実施しました。

福岡県立水産高等学校（福岡県福津市）では3県（福岡、長崎、山口）による実習船の共同運航について調査しました。



議会運営委員会

◆県外所管事務調査

11月7日から9日にかけて実施しました。

本県の議会改革の参考とするため、議員提案の政策条例を多数制定し、中学生議会を開催している千葉県議会及び平成24年度から通年議会を導入し、常任委員会改革にも積極的に取り組んでいる栃木県議会を調査しました。また、全国都道府県議会議長会では他の都道府県議会における議会改革の特徴的な取組や、地方議会を取り巻く諸課題について調査しました。



特別委員会

文化・スポーツを活用した地域づくり特別委員会

◆委員会の開催状況

12月13日に委員会を開催。文化・スポーツを活用した地域振興への取組や国民文化祭における誘客・情報発信等の取組状況について調査しました。

◆県外所管事務調査

1月16日から17日にかけて長野県で実施しました。
長野県上田市役所では、菅平スポーツツーリズムの状況や東京オリ・パラに向けたホストタウン事業等について調査しました。

革新的技術活用特別委員会

◆委員会の開催状況

12月13日に委員会を開催。IoTの活用について参考人から意見聴取を行いました。



農山漁村生活環境維持・産業振興特別委員会

◆委員会の開催状況

12月13日に委員会を開催。小規模集落対策について参考人から意見聴取を行いました。

障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる県づくり特別委員会

◆委員会の開催状況

11月27日及び12月13日に委員会を開催。障がい者施策についての現状と課題及び今後の方策、全国障害者芸術・文化祭への障がい者の関わり等について調査しました。

平成29年 大分県議会10大ニュース

1

九州北部豪雨災害・台風第18号災害への対応
・大分県議会災害対策連絡協議会を設置、6 常任委員会での合同現地調査、知事への提言、JR九州のほか政府・関係省庁への要望活動を実施

2

第72代議長に井上伸史議員、第97代副議長に御手洗吉生議員が就任（3月29日）

3

特別委員会を新たに設置（9月15日）
・喫緊の県政課題について調査・研究を行うため「文化・スポーツを活用した地域づくり特別委員会」等、4つの特別委員会を設置

4

政務活動費の領収書等をホームページで公開（7月3日）
・政務活動費の透明性の更なる向上を図るため、収支報告書に加え、領収書、会計帳簿、調査研究報告書等、全ての書類をHPで公開

5

議員提案により「健康寿命日本一おおいた県民運動推進条例」を制定（3月14日）
・健康寿命日本一の大分県を目指す「健康寿命日本一おおいた県民運動」を推進するため、議員提案条例を制定

6

「九州観光振興議員連盟」を設立（2月10日）
・九州全体の広域的な観光振興の推進に寄与することを目的として設立

7

「森林・林業・林産業活性化九州大会」を開催（10月26日）
・森林・林業・林産業の活性化と山村地域の振興を目的として大分市で大会を開催し、九州各県の県議会議員や林業関係者約1,100名が出席

8

「大分県議会日台友好議員連盟」を設立（3月16日）
・経済、文化、教育、観光等幅広い分野で、本県と台湾との交流を促進し、相互理解と友好を深めることを目的として設立

9

「県議会政策勉強会」を創設（9月8日）
・県議会のチェック機能や政策立案機能の向上に資するため、県内外から様々な分野の講師を招き、意見交換を行う政策勉強会をスタート

10

開かれた県議会への取組
・出前県議会
・おんせん県議会若者DAY
・議員出前講座
・議会中継のスマートフォン対応

番外

NPO法人「大分県地酒・焼酎文化創造会議」（理事長 井上議長）を設立
・「おおいた銘酒館たよい」を大分市中央町商店街にオープンし、県民や観光客に県内の日本酒や焼酎をPR
ラグビーワールドカップ2019試合日程決定・決勝トーナメントを含む5試合が大分県で開催
・大分県議会ラグビーワールドカップ大分開催協議会による政策提言を実施

トピックス

◎第2回県議会政策勉強会

11月27日、認定NPO法人ふるさと回帰支援センターおおいた暮らし相談窓口の移住コンシェルジュ伊藤彩子氏を講師にお招きし、「移住・定住促進の現状と課題〜東京の現場より〜」と題してご講演いただきました。

最近の移住・定住希望者の全国的な情勢や特徴のある自治体の移住支援策、移住のネックとなっている課題解決に向けた今後の施策の方向等についてご講話いただきました。



◎「飲んだらのれん」飲酒運転根絶街頭啓発活動

12月13日、ガレリア竹町ドーム広場で平成19年7月に議員提案条例により制定された「大分県飲酒運転根絶に関する条例」(通称「飲んだらのれん」の普及と飲酒運転根絶への協力を求めることを目的に、街頭啓発活動を行いました。



◎「大分県スポーツ推進条例(仮称)」について

県議会では、全会派の議員で構成する政策検討協議会において、議員提案による「大分県スポーツ推進条例(仮称)」を検討しています。これまで、本県のスポーツ推進施策に関する勉強会や、スポーツ関係者との意見交換会を開催するとともに、パブリックコメントを実施し、県民の皆様から、条例案に対するご意見をいただきました。年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、県民の誰もが、それぞれのライフステージに応じて、スポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を味わいながら、健康で活力ある豊かな生活を営むことのできる大分県を実現するため、早期の条例制定を目指しています。

県議会 今後の動き

平成30年第1回定例会の日程(予定)

29日(木)	閉会
23日(金)	常任委員会 26日(月)
15日(木)	予算特別委員会 28日(水)
12日(月)	本会議(代表質問) 14日(水)
7日(水)	本会議(一般質問) 8日(木)
6日(火)	本会議(常任委員会)
3月2日(金)	本会議
2月27日(火)	開会

県議会をご覧になりませんか？

- ①本会議場や委員会室で見える**
本会議と委員会は傍聴することができます。会議当日、議会棟1階傍聴受付にて先着順で傍聴券を交付します。
- ②インターネットで見える**
県議会ホームページでは、一般質問など本会議等の模様について生中継を行っています。また、過去の本会議等についても中継録画を配信しています。
- ③ケーブルテレビで見える**
次のケーブルテレビで、生中継もしくは録画中継を行っています。放送日時等は各ケーブルテレビ局にお問い合わせください。
○大分ケーブルテレコム ○KCV コミュニケーションズ
○大分ケーブルネットワーク ○CTB メディア

県議会ホームページでは・・・

本会議の生中継、録画中継、会議録や議会の日程、質問項目、議会の仕組みと役割など、様々な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



<http://www.pref.oita.jp/site/gikai/> 大分県議会

検索

～子ども向けサイト「おおいた県議会キッズ」もあります～

お問い合わせは
県議会事務局
各課まで

【総務課】 議会庶務、情報公開など TEL 097-506-5019
【議事課】 本会議、常任委員会、傍聴など TEL 097-506-5022
【政策調査課】 調査業務、特別委員会、議会広報など TEL 097-506-5035

テレビ広報番組のお知らせ
「県議会タイム」

OAB大分朝日放送
平成30年3月31日(土)
午後4時15分から

第1回定例会の概要や、各委員会の活動の様子を放送します。ぜひご覧ください。

広報誌「県議会おおいた」は、大分県情報センター、地区情報コーナー(各振興局)、県内各市役所、町村役場、大分銀行県内各支店に配布しておりますので、ご利用ください。

点字版・音読版
「県議会おおいた」
のご案内

●本紙の点字版・音読版を作成しています。詳しくは議会事務局政策調査課まで